

■施策評価シート 19-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	商工観光
基本方針	中心市街地の活性化	基本方針に関連するSDGsの目標	8 17
施策番号	19-01-①	施策名	中心市街地のにぎわいの創出

施策の概要

中心市街地エリアの活性化を図るため、これまで整備を行った拠点施設への集客から中心市街地での回遊性を生み出し、官民連携のイベント実施や新規出店の促進等により、にぎわいの創出に取り組みます。

成果指標(単位)	「中心市街地の活性化」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	22.3	25.3	28.3	31.3
実績値	21.3	22.6	22.3	30.8	25.4

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「中心市街地の活性化に満足している市民の割合」は、前年度に比べ5.4ポイント減少し、目標値を達成することができなかった。中心市街地の周辺地域住民からは満足度が高まっているが、郊外地域から中心市街地へのアクセス性などから、郊外地域住民からの実感は薄く、満足度が低くなっていると考えている。

施策の達成度評価

草津まちづくり株式会社や中心市街地活性化協議会など官民が一体となった取組により、大規模商業施設と商店街との連携が深まり、草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)に掲げた3つの指標(歩行者通行量、施設利用者数、営業店舗数)は基準値(平成29年)から増加しており、一定の効果が見られた。一方で郊外地域住民からの評価が低いため、郊外地域にも中心市街地活性化の効果を感じてもらうことが課題と考えている。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

これまでの取組により、草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)に掲げた3つの指標(歩行者通行量、施設利用者数、営業店舗数)は増加しているものの、意識調査では市民が実感していないという点に課題がある。特に郊外地域住民の満足度が低いことから、草津市版地域再生計画に基づく各学区のまちづくりプランにおいて、中心市街地へのアクセス性の向上を検討する必要があると考えている。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(商工費)	都市地域戦略課	△	草津まちイルミの開催を支援するとともに、店舗改修の一部に補助金を出すことで、魅力的な店舗の誘致を行い、中心市街地のにぎわいを創出したが、成果指標を達成することができなかったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	商業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-02-①	施策名	地域商業の活性化	

施策の概要 地域の商業を活性化させるために、草津商工会議所をはじめ地域経済団体や関係団体と連携しながら、商店街の振興や草津ブランドの育成等を図ります。

成果指標(単位)	買物する環境が整っていると思う市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	74.0	74.5	75.0	75.5
実績値	73.7	75.8	76.6	77.3	76.1

成果指標実績に対するコメント 本市の人口動向を踏まえて郊内外の商業施設の整備が進められたことにより、買い物環境が充実したことが目標を達成した要因と考える。

施策の達成度評価 草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体と連携したくさつ華あかりフェスタやみなくさまつりなどの実施および草津ブランド認証品を中心とした市内の特産品の啓発等を行うことにより地域商業の活性化を図った。
--

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方 草津商工会議所や草津市商店街連盟などの地域に根差した地域経済団体などとの連携を図りながら、消費者の購買行動の機運醸成に繋がる地域イベント等の支援をはじめとして、引き続き、地域商業の活性化を推進する。また、草津ブランド認証品をはじめとした市内の特産品等の啓発を強化し、市内事業者のさらなる販路開拓および新たな商品開発等を行える環境づくりに努める。
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
商工団体等活動費補助事業	商工観光労政課	○	草津商工会議所をはじめとした商工団体や地域商業の活性化を図ることのできる事業への支援を行うことで、市内商業の活性化を図ることができたため。
商店街活性化推進事業	商工観光労政課	○	くさつ華あかりフェスタの開催への支援やくさつ夢本陣の運営を行うことで商店街等の活性化を図ることができたため。
草津ブランド強化事業	商工観光労政課	○	草津ブランド認証品を中心とした機運醸成イベントを開催するなどの啓発を行うことで販路開拓や本市のPRを図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
商工業事務	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-①	施策名	中小企業等への支援	

施策の概要

草津商工会議所などの地域経済団体および金融機関や大学等の関係機関と積極的に連携しながら、優れた技術等を有する企業等の販路開拓・拡大の支援や企業訪問活動等を通じたビジネスマッチングなど、市内の中小企業等のニーズに応じた支援を行います。

成果指標(単位)	コーディネータによるマッチング成立件数(件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	40	40	40	40
実績値	53	51	50	31	29

成果指標実績に対するコメント

草津イノベーションコーディネータ(略称:KIC)を中心に企業訪問活動を行うとともに、草津商工会議所や立命館大学等の関係機関との連携・協力のもとで、ビジネスマッチングの促進や支援制度の活用促進に取り組んだ結果、令和3年度から令和6年度までの実績値の合計は161件となっており、目標値の合計(160件)に達しているものの、令和6年度のマッチング件数は29件(支援機関10件、産学間2件、企業間17件)となり、目標値を下回っていることから、継続的に企業のニーズに応じたマッチングの成立につながるよう、情報収集とともに、企業間の接点生まれやすい環境づくりを支援していく必要がある。

施策の達成度評価

KICによる活動を通じて、企業間ビジネスマッチングや国県等の補助制度の活用の実現などに繋がるなど、目標値達成には至らなかったものの、中小企業のニーズに応じたマッチング支援を行っていることから、地域経済の活性化や事業者同士の協力関係の創出といった一定の成果を得ることができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き、企業訪問活動等や関係機関との連携・協力を図りながら、企業のニーズに応じた支援・サポートに取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ビジネスサポート推進事業	商工観光労政課	○	目標値を下回る実績(29件)となったものの、企業ニーズに応じたマッチングを実施できており、一定の成果はあったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-03-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	商工観光
基本方針	工業の振興	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-②	施策名	企業の立地促進

施策の概要

限られた立地適地の中、本市の企業立地の優位性を生かし、企業の集積を図るとともに、必要な立地促進施策に取り組みます。

成果指標(単位)	企業立地促進助成事業者として指定決定を行った件数(件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	1	1	2	2
実績値	1	1	2	1	4

成果指標実績に対するコメント

市内における企業の立地・集積を促進するため、草津イノベーションコーディネータ(略称:KIC)による企業訪問活動や市ホームページ等を通じて情報発信、工場等設置助成金以外の税制支援制度(先端設備等導入計画など)の申請者へ紹介を行った結果、4件の指定決定を行うことができ、一定の成果があったものとする。

施策の達成度評価

目標値を上回る4件の指定決定を行うことができ、一定の成果があったものとするが、市内の企業立地適地が不足している状況を踏まえ、令和6年度より新たな産業用地創出に向けた候補地の選定や企業ニーズ調査等を実施しており、令和7年度も引き続き継続して取り組む必要がある。

評価に基づいた令和8年度の実施についての方針

市内に工業系用途地域の未利用地が少なく、工場や研究所等の新たな立地適地が限られた状況となっていることから、新たな立地適地の創出に向けた検討を行い、市内事業所の立地集積・設備投資を促進するとともに、令和7年度に策定予定の「産業用地創出方針」に基づき、令和8年度以降に企業立地に向けた具体的な取組を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
企業立地推進事業	商工観光労政課	○	企業立地促進助成事業者の指定決定(4件)を行い、企業の立地集積の促進に取り組むことができた。
企業立地推進事業	企業立地推進室	○	新たな産業用地創出に向けた調査業務を実施し、適地選定や企業ニーズ調査を計画どおり実施することができたため。(令和7年度も継続)

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-03-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	商工観光
基本方針	工業の振興	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-③	施策名	新産業の創出と創業・第二創業等の支援

施策の概要

技術力の高い市内企業等の集積を生かすとともに、インキュベーション施設などの支援機関等の活用により、産学官連携のさらなる促進に取り組み、新たな産業と雇用の創出を促進します。

成果指標(単位)	大学連携型起業家育成施設入居企業補助金を活用し、施設に入居した新規事業者数(事業者)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	3	3	3	3
実績値	3	4	4	3	1

成果指標実績に対するコメント

立命館大学BKCインキュベータに入居し、起業または新規事業展開を図ろうとする方に補助を行っており、市ホームページや草津市事業者支援制度一覧(リーフレット)で本施策について周知に努めた結果、令和3年度から令和6年度までの実績値の合計は12件となっており、目標値の合計(12件)に達しているものの、令和6年度の新規入所者数は1件となり、目標値を下回っていることから、継続して新規入居者数を確保するため、立命館大学および中小企業基盤整備機構と連携し、周知体制を強化していく必要がある。

施策の達成度評価

目標値には至らなかったものの、次年度以降の申請予定の相談もあり、一定の成果があったものとする。引き続き、県や立命館大学、中小企業基盤整備機構と連携しながら、補助要綱に基づき補助を行い、経済基盤が脆弱な起業家等の負担軽減を図り、新たな産業の創出促進に寄与する必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き技術力の高い企業の集積と定着を図るために起業家支援を行い、入居者への補助件数増加を目指す。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
産業振興審議会運営事業	商工観光労政課	○	目標値達成には至らなかったものの、次年度に向けて継続的に相談を受けていることから、一定の成果はあったと言えるため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-04-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	観光の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-04-①	施策名	地域観光の活性化	

施策の概要

地域の観光を活性化させるために、観光事業者、草津市観光物産協会、関係団体等と連携しながら、地域の特性を生かした魅力ある観光事業を展開します。

成果指標(単位)	観光入込客数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	2,645,000	3,160,000	3,192,000	3,224,000
実績値	2,130,400	2,206,676	2,729,254	2,948,110	2,879,019

成果指標実績に対するコメント

観光入込客数が多い矢橋帰帆島公園の遊具使用制限や、草津川跡地公園等の屋外施設において、酷暑により利用者数が減少したことで目標値には達さなかったが、コロナ禍以前の水準までに回復しつつある。今後も引き続き、(一社)草津市観光物産協会などの関係団体と連携をし、観光振興へ向けた取組を進める。

施策の達成度評価

(一社)草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会などの関係団体と連携を図りながら、地域の特性を生かした観光事業を実施することで、本市の観光振興を推進することができた。

評価に基づいた令和8年度取組についての考え方

着地型観光事業等を通して新たな観光資源の発掘や磨き上げ、SNSやHPでの情報発信を積極的に行い、引き続き観光振興に努める。また、イベント等については、引き続き、草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会と連携しながら、本市の特性を活かした魅力ある環境づくりに取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
観光物産協会観光振興活動費補助事業	商工観光労政課	○	(一社)草津市観光物産協会への支援を通じて、地域観光資源推進事業や着地型観光事業などを実施し、本市の観光振興を推進したため。
宿場まつり開催費補助事業	商工観光労政課	○	市制施行70周年を記念し、5年ぶりに東海道筋での時代行列や他市町との交流創出、当市団体などによるパフォーマンスやブースなどを設け、幅広い世代に楽しんでもらったため。
観光宣伝事業	商工観光労政課	○	草津市を訪れる方々に対し、観光案内を行うことで、本市の魅力発信を行うことが出来たため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
烏丸半島維持管理事業	公園緑地課
観光振興事務	商工観光労政課
広域観光事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-05-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	勤労者福祉の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	19-05-①	施策名	勤労者への支援	

施策の概要

勤労者福祉の向上を図るため、「草津市勤労者福祉基本方針」に基づき働き方改革に取り組みながら、勤労者の福祉の増進に向けた支援を図ります。

成果指標(単位)	勤労者福祉団体が実施する各種事業利用者数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	3,900	5,150	6,400	6,450
実績値	3,915	4,300	5,974	7,091	7,043

成果指標実績に対するコメント

補助金を交付している各勤労者福祉団体が実施する各事業について、利用数はコロナ以前の水準を上回り、前年度と同程度の実績となっている。

施策の達成度評価

草津市勤労者福祉サービスセンターおよび草津・栗東地区労働者福祉協議会が実施する勤労者福祉事業に対する支援を行った結果、各団体の実績値は事業展開の工夫もあり、目標値を上回る成果を得た。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き勤労者福祉団体への補助金を交付し、勤労者福祉の向上に資する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
勤労者福祉団体育成事業	商工観光労政課	○	コロナ以前の水準を上回る利用者数の増加がみられ、各種団体の勤労者福祉の向上を図ることができたため。
市民交流プラザ運営事業	商工観光労政課	○	安全安心な施設の運営に努め、市民活動や各種団体の活動支援ができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市民交流プラザ施設維持管理事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。